

平成29年度 第1回小松島市地域公共交通活性化協議会 議事録

【日時】 平成29年6月7日(水) 午後1時30分から

【場所】 小松島市保健センター 2階多目的室

【出席委員】 植木委員、漆原委員、加藤委員、久米委員(代理出席:東氏)  
杉友委員、関本委員、徳田委員、豊栖委員、平野委員、  
孫田委員、松村委員、宮城委員、森委員、山本委員

(以上14名)

- 【会次第】
1. 開会
  2. 委員紹介
  3. 議題
    - (1) 役員の選任について
    - (2) 小松島市地域公共交通活性化協議会  
平成28年度会計決算について
    - (3) 小松島市地域公共交通活性化協議会  
平成28年度会計監査報告について
    - (4) 小松島市地域公共交通活性化協議会  
平成29年度会計予算案について
    - (5) 小松島市地域公共交通網形成計画で  
位置づけた施策の実施方針について
  4. 閉会

【会議概要】

午後1時30分 開会

【事務局】

【事務局より配布資料の確認・新しく就任された委員の紹介・事務局員の紹介】

それではこのあとの会の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

## 【会長】

委員の皆様方、足元の悪い中、ご多用中のところ、ご参集いただきましてありがとうございます。今年度の小松島市地域公共交通活性化協議会を進めてまいりたいと思います。

私から1点、報告がございまして、3月の末に前年度お作りいただきましたこの地域公共交通網形成計画、これを小松島市長さんに報告に行ってまいりました。その時に市長さんのご意見として、ご質問を一ついただきまして、「どうしてコミュニティバスを導入するという計画が入っていないんですか?」と。「他の市町村ではそれが主流じゃないんですか。」というふうにおっしゃられました。さすが市長さん、他府県の市町村のことも情報集められておりまして、そういう意味でのご質問であったと私は理解しました。コミュニティバス、市民の皆様方のご要望や意見を真正面から受け止めると、そういう政策がパブリックとして出てくるのはよくわかりますし、他の市町村でもそういう姿勢は多く見られます。しかしながら、ものすごく費用がかかる制度なんですよ。コミュニティバスを走らせても、バスを用意して、ちっちゃい小型のバス、せいぜい乗っているのが2人ぐらい。そういう現状があるとすれば、それは現状のせつかく回復基調にある小松島市の財政に非常に大きな影響を与えることになってしまうのではないかという危惧がある。そこで、小松島市のこの網計画の基本に立ち返って、今ある交通資源を目一杯有効活用するというのが第一の目標、そういうことを考えて、今走っているバス路線にみんなが乗る、そしてもっと使う、そしてもっとそれを工夫して便利にしていきましょう、そういうふうなことを基本に据えた計画書を作ったわけです。そうしたら市長さんは、「コミバスは予算が非常にかかるというのはよくわかっているので、網計画の策定段階でそういうご意見が主になっていることを承ります。」と、そういうふうに言ってくださいました。今年の目標は、計画は作ったんだけど、これはただの書類。実際に向こう5年間、あるいは10年間に向けて、市民の足が基本的に維持できるようにすることが必要です。そのためには、徳バスさんも出席していただいているんですけども、もっと頑張ってくださいたいし、市民もどんどん乗って維持する、使うバスに変えていくことでそれを意識する。また、いろんな、網計画ですから、JRさんとの接続や、あるいはタクシー、自家用車、そういったものとの連携をうまくいくように、そして今、高速道路がどんどん作られてきていますので、高速道路を活かした地域公共交通網計画に徐々に変えていかなければならない。そういうものだというふうな共通認識のもとに今後の活性化協議会を進めてまいりたいというふうに思っております。あまり長時間ではないんですけども、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらというふうに思います。

それでは最初に、用意されている議題3の(1)、役員を選任についてというところがあるんですけども、事務局からの説明を先にいただきたいと思います。

【事務局】

【事務局より役員の選任について説明】

【会長】

なんかすごい規定ですね、指名するということなんですけれども、さすがにそれも口幅ったい（おこがましい）ものがございしますので、一応お諮りして、皆様の承認を得てご指名というふうにさせていただきたいと思えます。私の案といたしましては、副会長に N 委員、監事に H 委員をお願いできればというふうに思うんですが、皆様、いかがいたしましたでしょうか。

【異議なしの声】

ありがとうございます。では、お二人を指名させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

はい、それでは次の議題なんですけれども、(2) と (3) と (4)、お金に関する議案が続いてまいります。会を作った時から不思議な会だなというふうに私も思いながら続けてまいったわけなんですけれども、この活性化協議会単体で予算を持って、補助金を受けて仕事を進めるという会の組織でございます。従いまして、決算と監査報告がこの会の議事としてやっておりますので、議題 3 の (2) と (3)、ここを事務局のほうからご説明いただきまして皆様のご承認を得たいと。それではよろしくお願いたします。

【事務局】

【事務局より資料①小松島市地域公共交通活性化協議会  
平成 28 年度会計決算について説明】

【会長】

はい、引き続き決算の信憑性につきまして、会計監査報告を先にお願いたします。H 委員、よろしくお願いたします。

【H 委員】

はい、私の方から報告をさせていただきます。

それでは、平成 28 年度小松島市地域公共交通活性化協議会会計監査報告をさせていただきます。資料②をご覧ください。この報告書の 1. のところでございます。平成 29 年 5 月 9 日火曜日に監査を実施したところでございます。監査内容につきましては、協議会の収入

及び支出について事務局立会いの下、預金通帳並びに収入及び支出の書類について確認を行ったところでございます。確認の結果、通帳及び関係書類については適正かつ正確に処理されていることが認められましたので、これをご報告いたします。

以上でございます。

**【会長】**

はい、ご報告ありがとうございました。資料②に基づきまして、資料①の収入、支出の部、正確であるということが確認できました。では、皆様方のご不明な点等ございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

では、確認なんですけれども、剰余金の109万4,960円、これが支出の部の残としては、前年度の収入の部で38円の利息があったので、それを足して利息も含めてお返しするという趣旨なんですか。

**【事務局】**

そうです。

**【会長】**

はい、わかりました。だから、支出の部のA-Bは109万4,922円になって、それについて利息が38円あるので、それを含めて翌年度市のほうにお返しするという流れになっています。そのうちの104万1千円というのは、昨年度この地域公共交通網形成計画策定業務をコンサルタントさんにお手伝ひいただきました。そのコンサルタントの選定プロセスで契約を結果的として一番安いところに決定いたしましたので、いわゆる行政用語でいう契約残、儉約できたのでそれは使わなかったお金というふうになるかと思ひます。会計ご不明な点等ございませんでしょうか。

そうしたらですね、この決算書を承認いたしまして、剰余金につきましては先ほど契約残ということで市のほうの会計にお返しするということをご異議なくご承認いただけますでしょうか。

**【異議なしの声】**

はい、ありがとうございました。では、昨年度の会計についてはこれで閉じたいと思ひます。続きまして、この会は単独で会計を持っている協議会でございますので、今年度はどうするかというところに移りたいと思ひます。お手元に資料③をご用意いただきまして、事務局のほうからご説明のほどをよろしくお願ひいたします。

【事務局】

【事務局より資料③小松島市地域公共交通活性化協議会  
平成 29 年度会計予算案について説明】

【会長】

はい、経常的な予算はこの通りといたしまして、支出の部で公共交通マップの作成費というのが計上されています。これについては議題 3 の (5)、ここで具体的な網形成計画を今年度からどう進めていくかという中でバスマップという言葉が出てまいります。その予算が 9 万 4,000 円という金額なんですけれども、その金額が妥当かどうかというのは、議題 3 の (5) が済まないと確定はしない性質のものでございますので、そこはちょっとご勘案いただくので一番最後に承認を取るとして、経常経費については具体的に会議の回数等お示しいただいてから、このような形でできるだろうというところは確認を受けたことにしたいと思います。予算書の最終的な議決は議題 3 の (5) の後に回したいと思いますので、併せて事業内容とともにご議論賜りたいと思います。それでは、後から議決をいただくとして、3 の (5)、議題は小松島市地域公共交通網形成計画で位置づけた施策の実施方針についてということなんですけれども、お手元にお持ちの委員さんもいらっしゃるわけなんです、具体的に、例えば 78 ページを見ていただきますと、その当該年度で何をするかというプランニングというのはだいたいできているわけです。今年度は平成 29 年度ですから、29 年度に協議会として住民とのタイアップ、そしてそれぞれの構成組織がどのように動いていけばいいのかということをご議論し、確認をしていきたいというふうに思います。この資料を整理した形で、このあと資料の説明がありますので、それを伺いながらお話を進めてまいりたいと思います。では、事務局の説明ということでよろしく願いいたします。

【事務局】

【事務局より資料④小松島市地域公共交通網形成計画で位置づけた  
施策の実施方針について説明】

【会長】

実施方針という大きな名前がついたものであるわけなんですけれども、昨年度までご議論いただきました網形成計画を実現させるために今年度どういうふうなことをやっていったらいいかということ事務局案としてお示しいただいたものでございます。非常に広い範囲に渡りますが、どこからでも構いませんので、こちらで整理いたしますのでご意見等

お聞かせいただけたらというふうに思います。

考えておられる時に恐縮なんですけれども、皆さん、とくしまバス Navi って使われていますか。愛称が「いまドコなん」。手前味噌ですが、私は「バス恋」というのを 출시して、第 2 位だったんですけれども、センスのある徳島出身の大阪の女子大生に負けました。バス「いまドコなん」という名前になっております。これ、学生には評判がいいんです。バスが来るのがわかる、なぜ学生「には」というふうに言ったかということ、徳島駅の時刻表を検索すると、全路線出てくるんですよ。例えば、14 時台にバスが 25 便あるんですけど、それが全部バーッと何分発というのが出てきて、どこが行き先かというのが全部これ記号で書いてあるんですよ。あいうえおか ABCDEFG。そういうふうになっているわけで、時刻検索をしたい場合にはあまりどうかなという部分はあるんですけれども、バスの接近情報は極めて有効であると。それは例えば、文理大の前って、何回も言っているんですけれども、午後 8 時 37 分が最終バスなんです。学校を、施設を閉じるのが大体 8 時から 8 時半の間に守衛さんが周ってみんなに下校を促すんですね。まだ学校自体 24 時間のキャンパスにはなっていない現状で、学生たちを家に返さなきゃいけないんですけれども、終バスなんで乗り遅れたら歩いて帰らなきゃいけない。8 時 37 分ぐらいにバス停に来たら誰もいなかったりして、バスが行っちゃったのか、あるいは遅れているのか、あるいは早発したのかがよくわからなかった。でもこれ（バスナビ）を使えば、あと何分で来ますよというのがよくわかる、安心していますという評判を受けています。もっとスマートフォンを上手に使えばいいんだけど、私なんかでも便利に使えらると思うんですけれども。

他にお気づきの点等ありましたら。O 委員さん。

### 【O 委員】

よろしくお願ひします。バスの細かいところで、和田島線のことなんですけれども、今、空白地帯が和田島町の北の自衛隊のところと、間新田町、坂野町のあたりにあるんですけれども、今、和田島のバス停の一番奥のところ自衛隊の前になっていて、自衛隊に沿って道が広くついているので、もうちょっと延長というか、奥のほうまで来られないのかなと思うんですけれども、そしたら空白地帯ももう少し少なくなるのかなと。それから、危険かもしれないんですけれども、和田島の海岸の堤防を走って、空白地帯のところを走って循環してまた路線に帰るといようなルートを組めないのかなと思います。まずは和田島町のそのところをご検討いただきたいのと、間新田町のほうはちょっと既存の道というのが非常に狭いので、バスはなかなか通るのが難しいかなと、坂野町、間新田町のほうは畑、田んぼが広がっているので難しいとは思いますが、和田島の奥のほうに来られないか、現状の路線を延ばせないかということと、あと目佐和田島線のルート変更をつけてくれているんですけれども、市内を和田島から羽ノ浦駅に近いところ、また、立江方面に向けて外周を循環できるようなルートを組めないかという。それで、どこか南小松島駅か重要な日赤前のところで接点を作ってそこから乗り換えで徳島方面へ行けるような

ルート設定ができないかということ。例えば、和田島から目佐のほうを通過して羽ノ浦町から立江に向けて、例えば南中学校のあたりを通過して南小松島、日赤のほうに行ってまたぐるっと回るようなルートができないかという、その 2 点なんですけれども。どうなんでしょうか。

#### 【会長】

ありがとうございます。ルート・路線関係で一つ出ているんですが、他にお気づきの点、ルートや路線関係でございませんでしょうか。

このルートの問題なんですけれども、従来の発想を 100%変えて議論をしたと思います。というのは、ユニバーサルサービスというのは非常に重要なんだけど、今までは市全体、すなわち市営のバスだったんですよね、今までの路線というのは。それを全部、またこの協議会の議論にもなるんですけれども、徳島バスさんにお任せしているという現状がある。徳島バスさんも一企業体ですから、利潤のバランスがないとそれは運営できないよという議論になるわけです。じゃあそういった場合に路線をどう考えるかという、いろいろ組み合わせましょうというアイデアがついて出てくるわけで、自家用車との連携とか、あるいは利便性が下がらなかつたり、あるいはコストが増えない範囲で路線を少しさわる、そういった総合的な、最後はシミュレーションするしかないんですけれども、シミュレーションした上で考えていきたいと思います、そういう話にはなるのかなというふうには思います。ご要望のございました空白地域をなくすという公共性の観点からもご意見は頂戴いたします。

ほかに、サービスの向上性とか、いろんなアイデアが出ておりますが、どう扱いますでしょうか。

今日は学校の先生はいらっしゃらないんですよね。

#### 【B 委員】

個人的な意見なんですけれども、大きなショッピングセンターができましたよね、末広大橋を渡ったところに。徳島駅に行くのに末広大橋を通過していくという路線を徳島バスさんをお願いしたいと思うんですけれども、そんな路線を作るとするのは無理でしょうかね。

#### 【会長】

これは、やはり大きなショッピングセンターができましたので、非常に集客装置であることは間違いないと思います。他の市のことなのでどうでもいいのかもしれないんですけれども、勝浦とか南のほうから来る便数をこれ以上増やしてもお客さんなかなか難しいんじゃないのかなというふうに思ったりもします。そうしたら、ショッピングセンター経由の便を新たに増設すると、今度は県庁前あたりが通れないという話になってくるので、そういうところの全体図をどう見るかという議論はもう少し必要なのかなというふうには

思います。

しかしながら、そういった長期の、このショッピングセンターがどのくらい集客力を維持するか、そこに我々が行く手段をどうやって確保するかというところを議題については十分乗れると思いますので、また詰めていきたいと思いますので、事務局お願いします。

#### 【事務局】

今、ご質問いただきました件につきましては、一つは今、移譲路線の中である程度徳島駅まで行く部分の路線の中で、事前の部分では徳島バスさんとやるとか、徳島市交通局、それから、あとは今の徳バスさんあたりとの考え方、それからそのショッピングセンターあたりとの交渉も踏まえて、可能であればそういった部分もダイヤを移譲路線の中で1路線程度は、ただ、移譲路線として1路線は津田・昭和町のほうへ行く路線は残さないといけないという認識はありますので、そのへんは集客率とかその辺もありますし、ただ、若い人たちが週末行かれる傾向はしばらく続く可能性があるという観点から、例えばそういった選択肢も考えには入れているということで、これに関しては調整中でございますので、またお示しできるような段階になりましたら、調整後にはご説明したいと考えております。以上です。

#### 【会長】

ゆめタウンって、休日ダイヤと平日ダイヤでは全然違いますよね。いつ行くのか、お客さんがどう動くのか、そこに市民は何を求めていくのかという観点です。議論と調整を今後期待したいと思います。

#### 【F 委員】

ゆめタウンについてちょっと。タウンのほうで土日祝日だけで15往復、別途構えているんですけども、それは順調に推移しています。ですので、このショッピングセンターもそれなりに集客はあるんじゃないかという予測はできるので、事業者側としても自社路線で、通勤通学の時間帯は現行のルートを変えられないのかなと思ってまして、買い物の時間帯、そこだけでもそちらに回せないかという検討は始めているところです。さっきもおっしゃったように、徳島市の交通局さんとか、関連する事業者と競合する部分もございますので、調整していかないと駄目かなというところです。

#### 【会長】

はい、ありがとうございました。この協議会のメンバーさんもほとんどの方は自家用車に乗られていると思うんですけども、バスユーザーの私、自家用車を持っていないのでだいたいバスで移動します。もっともっと本当は便利になればいいなあというのが命題なんですけれども、その命題にしていく以上、そんなにむやみに便数をどんどん増やしてほ



しいなんていうことは言える状態じゃないというのが現実なんですよね。人口もそんなに増える、また、とてつもない企業がやってきて、通勤客が何十倍にもなるということは当面想定しづらいところもあります。ご確認させていただきたいところなんですけれども、今年度の作業といたしましては、具体化に向けていろいろ動いていくということが主でございまして、皆様にお配りをしている資料④の 3 ページ、こういった事務作業が非常に多くなるんですけれども、こういったことがメインになります。今、一案として出していたいただいたダイヤとルート、これも認可事項なんです。ダイヤとルート、認可事項。運輸局の認可なしにはできないということで、じっくり検討した後、申請を進めていこうと。それから、利用案内の充実として、バス停の点検とか、バスマップの作成。バス停の点検のところで一つ気付いたのは、移譲路線も関係なく一つの時刻表ですよね、時刻表はね。だからあまりもう移譲路線という考え方は、当局が持っている話であって、ユーザーレベルではもう関係なくなっているというふうに思って今後仕事を進めていったほうがいいんじゃないかなというふうに思います。市営バスの営業所って図書館の駐車場にあったんですよね、小松島市のね。営業所の跡地、図書館の駐車場になって綺麗になりましたよね、オープンしましたよね。ぜひ行かれてください。そういうふうになっているから、あんまり移譲路線というのはユーザーレベルではあんまり考えていない。それから 3 番、バリアフリーですね。まだ床がちょっとデコボコしている車両は更新していく。それから、バスロケの充実ですね、今、説明がありました。それから、多様な交通手段の連携として、自家用車、それから高速道路をにらんだ計画。それから、最後にあります通り、校長会に話がありましたように、小さい子どもさんにバスに乗ってもらったら、楽しく「便利だよ」ということを学んでもらう取り組みを 29 年度に進めてまいりたいということでございます。

さあ、どうでしょうか。こんな活動方針ということでご承認いただけますでしょうか。年間こんな感じでよろしいですか。はい、じゃあですね、資料④の 3 ページの内容で今年度 1 年間進めてまいりたいと思いますので、よろしくご支援のほどお願いいたします。

というわけで、これに関する予算なんですけれども、もう一度資料③を確認したいと思うんですが、よろしいでしょうか。

**【事務局】**

**【事務局より資料③小松島市地域公共交通活性化協議会  
平成 29 年度会計予算案について再説明】**

**【会長】**

大体、何枚ぐらいになるんですか、想定枚数。

**【事務局】**

現在、この 9 万 4,000 円というのが、一応 3,000 枚での想定で、お店とか市役所とか、そういった人が集まるところに置こうかなというのが現時点での想定ではあるんですけども、場合によっては全世帯にというのものもあるのかもしれないんですけども、ちょっとまだそこまで細かい詰めはできていないので、3,000 枚での想定でございます。

#### 【会長】

全世帯だと 16,000 枚ぐらい必要なので、それはまたもう少し完成した形でやったほうがいいかなと思いますので、今年度はとりあえずお店とか、駅の観光案内所とか、そういうところに置くことを想定して、3,000 枚、9 万 4,000 円という予算取りになっています。

というわけで、今年度、具体的に何をどうするという計画をきちんと詰めていきながら、決まったところから周知をしていくという流れ、それに必要な予算として、事業費として、バスマップができたなら、それを主要なバス停、商店等に配布できるようにということで 9 万 4,000 円の支出を予算立てして、予算書を作ったというところでございます。

さあ、今年度の取り組み、以上のところなんですけど、それぞれ協議会の組織の皆さん、よろしゅうございますでしょうか。はい、では、このように今年度の事業計画を進めてまいりたいと思います。ひとつ、それぞれの項目・分野におきまして、ご協力のほどをよろしくお願ひしたいと思います。

というわけで、本日予定されていた議題といたしましては、(1) から (5) まですべて終了したわけなんですけれども、何か地域交通のことに关しましてお気づきの点等ありましたらご遠慮なくご発言いただきたいと思うんですが。K 委員さん。

#### 【K 委員】

失礼します。いつも考えているんですけども、結局バス利用者が多くなるということが一番の目標になるんだと思うんですけども、私もバスを利用させていただくにつまましては、便利なところから便利な場所といえ、小松島の中心から徳島駅ということになっておりまして、個々の分については便利な便を利用しております。経路につままして、できるだけ多くの方の利用者があればいいのではないかと考えております。それをどうしたらいいかと思うんですけども、私が利用している間におきましては、やはり、高齢者がいます、小さいお子様もたまたま乗られますが、大多数の便では少ないという感じがしておりますので、いかにして近所の方にもバスに乗っていただくために、バスで利用できる何かを作ったほうがいいなという感じで考えております。会をするにも小松島の中央からでしたらバス利用も可能ですけども、バスが通らなくてもバスの停留所に近いところでとりあえず会議なんかをすれば、バス利用者も多くあるんじゃないかと。あれこれの問題になりましたけれども、そんな考えで今もどうしたらということバス乗車客の増員のことを考えているわけでございます。失礼します。

【会長】

どうもありがとうございました。委員の皆様方、空白地の16ページの図を再度ご覧いただきたいと思うんですけれども、事務局すいません。このバス停を中心とした青い丸って半径何メートルで図示されていますでしょうか。

【事務局】

青の点がバス停になりまして、そこから300メートルがこの円ですね、カバー圏域と。JRの駅は1キロで図示させていただいております。

【会長】

はい、ありがとうございます。300メートルなんですよ、この半径が。やっぱり高齢化率が上がっていくうちに、代表で聞こうと思うんですけど、副会長、300メートルの距離感ってどうですか。

【副会長】

不動産の表示だったらたぶん3分、5分かなど。高齢者の方だったら10分近くかかるかもしれませんね。

【会長】

となってくると、とりあえず全国スタンダードで空白地域を考えると300メートルで円を描きましょうと。だからバスがそんなに頻りに停まったら進んでいけないので、大体300メートル、600メートルおきくらいで路線にバス停を配置してこんな形に、円がずーっと繋がっていますよね。だから、バス停も大体300メートル間隔ぐらいにずっと路線上は置いているわけなんですけれども。それから離れると歩くのが大変かなあと。だからそういう歩くのが大変な時にどういう交通モードを考えていくかというのは今後大きな課題になってくると思います。小松島の場合、田んぼも畑もまだありますからね、そこまで全域でカバーするということはないというわけなので、この図をよく見ながら使いやすい仕組みを考えて、というのが短長期の課題になってくるかなというふうに思います。どうもありがとうございました。

最後、まとめになるんですけれども、やはり、皆様方は車を使っておられると思うので、よくこの地域公共交通網形成計画、公共交通の市民の皆様の意見を聞くと、大多数は「今いないけど将来いる」そういうご意見がたくさん出てきます。実はちょっとそれは困る話で、それまでなんとか公共でお金を使って維持しろよというメッセージなんですけれども、さすがに公共もそこまで体力が今ある状態ではない中で、こういった、みんなで使いやすい、わかりやすい仕組みに変えていきたいと思いますというところで地域公共交通網形成計画を推進してまいりたいというふうに思いますので、ひとつご協力のほどよろしくお願

したいと思います。

では、予定されていた議事はこれで終わりましたので、事務局のほうに議論をお返ししたいと思います。ちょっと、お気づきの点、すみません。〇委員。

**【〇委員】**

すみません、この計画なんですけれども、次に1月の予定とこの日程が書かれているんですけども、それまでの間、どういうふうな感じでこの計画というのを進めて、ルートなり時刻なりを考えていくのは、例えば委員さんの意見がその後も反映されるのかどうか。

**【会長】**

はい、かしこまりました。これは、すみません、配っておきながら扱っていない資料なので、事務局の方で。

**【〇委員】**

具体的な時刻やルートなどの話になったら委員の皆さんそれぞれ意見があると思うんですけども。

**【会長】**

はい、じゃあお願いいたします。

**【事務局】**

〇委員さんからは今日説明した29年度の主な施策の進行をそれまでどういうふうに管理していくかというようなご質問だったと思います。一つは、30年度から徳バスさんとの再協定という手続きがこちらのほうで考えている部分がございます、それについてはダイヤの見直しであるとか、ルートの変更あたりも絡んできますので、一定の期間、3か月前までには少なくとも陸運局のほうに届け出がいきますので、そういった関係とか、あとは委員さんの任期が11月で一応切れるというようなことで理解をしておりますので、それも含めると、今は1月という形にさせていただいているんですけども、次回11月ぐらいの開催とこの場で訂正させていただきますけれども、予定させていただくことで、そこで検証、実際の事業者との調整とか、再協定に向けた陸運局への届け出とか、具体の話の結果が言える時期がそれぐらいの時期かなというタイミングで推し量っておりますので、できましたら11月の開催ということで2回目をさせていただければありがたいと思っています。以上です。よろしく申し上げます。

**【会長】**

はい、すみません。会次第には載っていない資料だったのでこの取り扱いを忘れておりまして、失礼いたしました。一応、今後、今日ご提案いただいた内容について、事務局を中心にそれぞれ個別にお考えを伺いながら進めてまいります。それにつきまして、一応11月にご報告いただきまして、会としてとりまとめをしたいと思っております。それまでの間は、逆に御用聞きは事務局のほうで回るといふことにさせていただきたいと思っておりますので、もしご不明な点、ご要望等ございましたら、お届けいただきましたらそのように扱っていきたく思いますのでひとつそれはよろしくお願ひしたいと思ひます。

はい、ありがとうございます。お足元の悪い中、どうもお集まりいただきましてありがとうございます。会の進行を事務局のほうにお返ししたいと思ひます。

#### 【事務局】

松村会長はじめ、委員の皆様、長時間にわたりご審議をいただきありがとうございます。

次回の協議会開催につきましては、先ほど事務局長のほうからもお話がありましたように、11月頃の開催というのを視野に入れて、また日時・場所等が決まりましたら改めてご連絡をさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

尚、本日の会議録につきましては、事務局で会議録案を作成の上、委員の皆様にご確認をいただいた上で、市のホームページで公開させていただく予定としておりますので、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、本日の委員報酬につきましては該当の委員様に対し、後日、連絡の上お持ちさせていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、以上をもちまして、平成29年度第1回小松島市地域公共交通活性化協議会を終了したいと思ひます。

委員の皆様長時間ありがとうございます。

— 午後2時53分 閉会 —